

四国大学学際融合研究所言語文化研究部門

四国大学文学部日本語教員養成課程開設記念
日本語教育フォーラム

日本語教育

の未来を考える

～今、なぜ、日本語教師なのか～

2023.3.25 土

14:00～16:00 (受付13:30) 定員 80名(要予約)・参加無料

場所

四国大学交流プラザ
5階フォーラムホール

対象

学校教員、高校生、大学生、大学院生、
自治体関係者等、日本語教育に関心のある方

Schedule

14:00～ 開会のあいさつ 四国大学学長・四国大学学際融合研究所長 松重和美
開催趣旨説明 四国大学全学共通教育センター 元木佳江

14:15～ **第1部「日本語教育人材の養成・研修の動向について」**
文化庁国語課日本語教育調査官 増田麻美子氏

14:40～ **第2部 基調講演「『日本語教師』を考えるー日本人は日本語が教えられるか」**
広島大学森戸国際高等教育学院特任教授 迫田久美子氏

15:50～ 閉会のあいさつ 四国大学学際融合研究所言語文化研究部門長 須藤茂樹

※当日は凡人社による書籍展示があります。

※フォーラム終了後の意見交換、交流はコミュニケーションスペースTAG-RI-BAをご利用ください。

※新型コロナウイルス感染状況により、WEB開催となる場合があります。

申込方法

以下のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/wsfSurUPWnqodeo89>

締切日/2023年3月13日(月)17時メ切



フォーラム開催趣旨

令和元年に「日本語教育の推進に関する法律」が制定され、その理念には「日本語教育の水準の維持向上」が謳われました。

周りに目を向けてみると、コンビニ、スーパー、飲食店で外国人を見かけることは珍しくありません。国際化の進展や少子高齢化における外国人労働者の受け入れにより、これから日本で暮らす外国人はますます増えていきます。それに伴い、日本語学習のニーズも多様化し、日本語教育の質の向上と日本語教育の担い手、いわゆる「日本語教師」の資格化についても検討が進められています。このように日本社会では専門家としての日本語教師が求められています。

このような状況のもと、四国大学では令和元年から3年間、文化庁の「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」により、理論と実践を兼ね備えた人材育成を目指すカリキュラムを開発し、令和2年4月に、「四国大学文学部日本語教員養成課程」をスタートさせました。

フォーラムでは、「日本語教師」に焦点を当て、これからの未来における日本語教育について考えていきたいと思ひます。

日本語教育やこれからの多文化共生社会にご関心のある方がたのご参加をお待ちしています。



講師紹介

広島大学森戸国際高等教育学院 特任教授・副理事(日本語教育担当)
国立国語研究所 名誉教授(日本語教育領域)

迫田 久美子氏

広島県生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了。博士(教育学)。
広島YMCA日本語学校、広島大学教育学部講師、助教授、広島大学大学院教育学研究科教授、国立国語研究所教授を経て、現職。専門は第二言語習得及び日本語教育。
主な著書として『中間言語研究—日本語学習者による指示詞コ・ソ・アの習得—』(溪水社、1998)、『改訂版 日本語教育に生かす第二言語習得研究』(アルク、2020)など多数。

四国大学交流プラザ

5階フォーラムホール

〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西2丁目35-8

TEL.088-602-4858

利用時間／9:30～18:00

休館日／年末・年始及び月曜午後

徳島駅から徒歩約3分

専用駐車場はありませんので、お車でお越しの際は、
近隣の有料駐車場をご利用下さい。

